

# 幕末・明治初期における「英和・和英」辞書の増補語について

——主に『薩摩辞書』再版にある訳語を中心に

肖 江 楽

## 一 はじめに

幕末・明治初期、西洋の概念・思想や科学技術などが一気に大量に日本に流入した。これに対応するため、英語との対訳辞書が求められるようになったが、その中で、後の辞書に大きな影響を及ぼしたのは、「英和」辞書としての『英和対訳袖珍辞書』<sup>(1)</sup>系、『附音挿図英和字彙』系、「和英」辞書とみられる『和英語林集成』系と中国から伝来した『英華字典』系であった。そして、各辞書は時代の風潮に伴って、初版を基礎にして、いろいろな新しい語彙の追加作業が行われた。

そこで、本稿では、日本最初の英和辞書と言われる『英和対訳袖珍辞書』系の増補語について考察することにする。具体的に辞書を挙げると、『薩摩辞書』すなわち『改正増補和訳英辞書』である。『薩摩辞書』初版は一八六七年刊の『改正増補英和対訳袖珍辞書』を基

にして若干の訂正を加え、一八六九年に中国の上海で刊行されたものである。一八七一年に『大正増補和訳英辞林』、いわゆる『薩摩辞書』再版が、初版に新たに八〇〇〇語を追加されて編纂された。筆者は、この新たに増補された語群に興味を持ち、先行研究を踏まえ、日本と中国での英語との対訳辞書を比較しながら調査することにした。

## 二 先行研究及び研究方法

### 二・一 『大正増補和訳英辞林』について

『大正増補和訳英辞林』の序文には、増補の事情について次のように記されている。

## 日本 序

明治己巳ノ歳予等上海ニ於テ改正増補和譯英辭書ヲ刊版シ  
既ニ星霜ニ周ヲ過タリ、抑モ時勢開化ノ運ニ屬シ學業技藝ノ  
精巧日ニ新二月ニ進ム、前ニ出版セシ辭書ノ如キモ亦其盡  
サ、ルヲ知ル、且ツ前版ハ部數許多ナラス今又消磨ニ屬ス、  
故ニ此度堀孝之等ト共ニ謬語缺漏ヲ改正編集シウエブストル  
氏ノ辭書ヨリ緊要ナル者凡ソ八千餘語ヲ拔萃ス又前本ニハ英  
語ノ傍ニ片假名ヲ以テ口調ヲ施スト雖モ音聲ノ高下及ヒ字綴  
ヲ明辨スル能ハス、故ニ今片假名ヲ省キウエブストル氏ノ辭  
書ニ據テ是ニ易ルニ音符並字綴ヲ以テス、又前本ハ畧語ニ和  
解ナク學者ノ遺憾少ナカラス因テ和譯ヲ加ヘ加之各國ノ度量  
考ヲ表シテ以テ學者ノ便覽ニ供フ 亦時勢開化ノ運ヲ趁テ益  
其精ニ至ルヲ求ルノ意ナリ乃チコレヲ世ニ公布シ以テ初學進  
歩ノ一助トナランヲ庶幾スト爾云。

明治四歲辛未十月

薩摩學生

前田正穀

高橋良昭

## 二・二 『英和对訳袖珍辞書』の系譜についての紹介

筆者は、『英和对訳袖珍辞書』と『薩摩辞書』との関係はおおよそ  
表1の通りである。

以下は、『改正増補和訳英辞書』を『薩摩辞書』初版、『大正増補  
和訳英辞林』を『薩摩辞書』再版と呼ぶことにする。

## 二・三 先行研究

これまで『英和对訳袖珍辞書』系については、次のような研究論  
文が公にされている。

井田好治「日本における英和辞書発達小史」(一九八〇年)

堀孝彦・遠藤智夫『英和对訳袖珍辞書』の遍歴(一九九九年)

遠藤智夫『英和对訳袖珍辞書』と近代語の成立(二〇〇九年)

惣郷正明「薩摩辞書の系譜」(二〇〇九年)

堀孝彦・三好彰『解説『英和对訳袖珍辞書』原稿初版および再  
版』(二〇一〇年)

幕末から明治初期まで、日本歴史上における大きな社会の変革が  
あり、社会思想が蘭学から英学に変わりつつあった。『薩摩辞書』  
再版には、時代変革の真っ只中において訂正増補され、初版にあつ  
た語彙の誤りを校正したり、必要な語彙を増補したりする方針が記

表  
1

何 版	書 名	発行部数	発行者 編集者	発行社	発行年
初 版	英和対訳袖珍辞書	200	堀達之助	洋書調所	1862
再 版 (注2)	(第1刷) 改正増補 英和対訳袖珍辞書	1000	堀達之助 堀越亀之助	開成所	1866
	(第2刷)	不明		同上	1867
	(第3刷)	不明		同上	1869
第3版 (注3)	改正増補 和訳英辞書：「薩摩辞書」 初版	1500	堀越亀之助 薩摩学生	美華書房	1869
第4版 (注4)	大正増補 和訳英辞林：「薩摩辞書」 再版	5000	堀孝之 前田正毅 高橋新吉	美華書房	1871

されているが、実際には、増補された語数は全体的には少なく、また、訂正された語彙もそれほど多くないように思われる。この点については、勝俣銓吉郎の「最初の英和対訳字書」(『英語青年』第三十二巻・第壹号(総合第四百四十号) 大正三年十月一日発行、十九ページ)に次のように述べられている。

堀越愛国翁の直話に依ると改刻に入費を多く費(か)けたくないからあまり手を入れぬやうにとの注文で一頁に一二箇所の割合で訂正を加えたのださうである。

また、杉本つとむは、『辞書・事典の研究Ⅱ』の第九章「英和対訳袖珍辞書」の研究(五四五頁)において、次のような指摘がある。

また再版が改正増補を行っている点については、拙著『江戸時代翻訳日本語辞書点(早稲田大学出版部)』において、具体的に訳語の登録に当たりプラス(+)・マイナス(-)の符号を持って明示した。訳語——もとより見出しの英語は再版の部の欠落の有無と若干の異形増補を除いて、両版ともほとんど変更はない——の比較も、おのずから実証したわけである。

さらに、森岡健二『近代語の成立—語彙編』(明治書院・四頁)には、同じような見解が示されている。

なお、この系統の中から、訳語分析の資料として選んだのは、明治二年の『薩摩辞書』でその訳語は、対校の結果『英和対訳袖珍辞書』（二版・三版）とほとんど同一で、ただ、ふりがなのつけてある点が違っている。

このように、『薩摩辞書』初版までは、大量な増補作業が行われていなかったことに言及されている。しかし、『薩摩辞書』再版を編纂するときには、新鮮な血液を注ぐように八〇〇語を新たに追加している。堀孝之がこのような語彙追加において、根本的な編纂「方針」の改定があったかなかったか、本稿では特に注目したい。以下は、これ、まで『薩摩辞書』再版に関して明らかにされている諸点をまとめて示しておく。

- ① 堀孝彦・谷澤尚一 著『堀達之助研究ノート（その九）』（『名古屋学院大学論集社会科学篇第二九巻第四号 頁二二四～二一五 一九九三年）

この再版の特徴を整理すると、その序に言う如く

- ・語欠漏を改正編集した
- ・Websterの辞書によって緊要な者およそ八千餘語を抜萃して追加した
- ・カタカナの発音表示を止め、Webster式の発音標記と音符

と字綴を加えた、

- ・略語に和解を加えた、
- ・国の貨幣度量表を附録として加えたことである。

「薩摩辞書は開成所辞書の引写し、単なる模造にすぎぬ」という説が公正を欠く判断であることを論証していた。（傍線部筆者）

- ② 井田好治 著『薩摩の英学（一）』鹿児島大学文科報告／鹿児島大学文理学部編（一九六三年）

「豊田博士によれば「Bの部の始めを見ると、明治二年版にはなかったBabyish, Baccalaureate, Baccated等が加へられている」。井田によれば、「Lの部最初の100語を、薩摩辞書の初版と再版を調べた結果は、32語が追加され、2語が削除された。従って、実質的に30語の増補であり、当然これに新しい訳語を加えたわけである。しかし、『薩摩辞書』（1871年）はWebsterより抜粋8000語追加については、今は十分に検討する余裕がないが……」

この論文は、主に薩摩における洋学あるいは英学の発展史から、「薩摩辞書」が明治維新史・文化史研究上において欠くことの出来ない分野であることを論じている。

③ 杉本つとむ 著作選集7『辞書・事典の研究Ⅱ』

(八坂書房 一九九九年)

この『薩摩辞書』は明治の英和辞書の一出发点―江戸英学の終着点ではなく―を示すものとしてかなり注目すべきであると思う。十分に研究考察に価する。ことにその序文はそのまま、日本の英語受容の意識を史的に語りついでいることになり、草創期の日本英学の貴重な文献資料でもある。

④ 早川 勇 『ウェブスター辞書と明治の知識人』

(春風社 二〇〇七年)

この論文では、『薩摩辞書』再版は、一八六七年出版のウェブスターの辞書の簡略版「A Dictionary of the English Language」俗に『国民絵入り辞典』を利用した可能性が高いと指摘されている。

⑤ 堀孝彦 『堀孝之とその周辺…薩摩辞書と近代社会』(東日本英

学史研究…日本英学史学会東日本支部紀要(一五)頁三九～五

二 (二〇一六年)

この論文は、堀孝彦が、主に堀孝之の出身の紹介、外交活動、薩摩辞書の編集方針【明治四年版(『大正増補和訳英辞林』への指針)、五代産業の総事・孝之、「町の学者」・孝之、英和对訳袖珍辞書・薩摩辞書―近代日本を貫通する問題、この六つの方面から論じてい

る。非常に広い視野を持ち、日本英学史の領域を超えて、さらに近代日本史や、西洋近代倫理思想史などと関連させ、筆者の立場を強調し、一般的な見方とは異なる目線で発表されたものである。以下は、『薩摩辞書』の歴史上における位置づけについての言説を引用する。

薩摩辞書は改正増補『英和对訳袖珍辞書』の以降の近代化の主方向を象徴するという重要な問題を含んでいた……(中略)……基本的には薩摩辞書も歩んだこの道は、夏目漱石が「上滑り」と評した路線につながるが、その方面に関して『近代化』に大きく貢献した。この面の存在も指摘しておかないとバランスを欠くことになる。

## 二・四 研究方法の紹介

本稿では、主に二つの研究方法によって、『薩摩辞書』にある増補語について検討することにした。最初の方法は、対訳日本語に關してであるが、たとえば、対訳語の品詞、訳語のつけ方、訳語の出自や、後の辞書への影響などから考察するというものである。もう一つの方法は増補語の見出し英語についてである。たとえば、見出し英語の品詞、接尾語による意味の変化などを比較検討するといふものである。この二つの方法を用いながら、さらに、「英和・和

英」辞書と「英華・華英」字典との語彙比較を行い、日中文化交流史での影響関係も辿っていきたいと思う。

### 三 研究対象

本節は、主に研究対象を確定する作業である。『改正増補英和対訳袖珍辞書』第二版（一八六七年）・『薩摩辞書』初版（一八六九年）・『薩摩辞書』再版（一八七一年）を比較し、Aの部分に追加された語を抽出して分類する。結果は表2の通りである。

以下表2のように、すべての語を検討した結果、一八七一年の『薩摩辞書』再版には四百三語が追加されていることがわかった。そして、『改正増補英和対訳袖珍辞書』第二版と比べると、七一語が削除されていることも明らかとなった。従って、Aの部分には、実質三三二語の増補であったことがわかった。以下の表2のようである。

### 四 『薩摩辞書』再版にある増補語について

#### 四・一 対訳日本語について

以上の研究方法に従って、Aの部分における増補の英語見出しを対象として、訳語の付け方の違いによって、分類を行った。分類の基準は以下の通りである。

表2

増補英和対訳袖珍辞書	薩摩辞書初版	薩摩辞書再版	品 詞 (注5)	語数
×	×	Accouchement,s 分娩 …など	名 辭	206
	×	Amendable,adj 改正スベキ …など	形容辭	163
	×	Alligate,v.a 結び付ル …など	他動辭	13
	×	Apostemate,v.n 膿潰スル …など	自動辭	4
	×	Affluently,adv 澤山ニ …など	副 辭	16
	×	Aha, アハー（勝利賤ミ或ハ驚キノ語）	間投辭	1

(a) 一対一の対応をもつ

Ab'bes 知識

Accordions 風琴

Adolescent,adj 成長スル

Apostemate,v,n 膿潰ス

Affluently,adv 澤山ニ

Accouchements 分娩

Amaurosis 内障

(b) 一対一の対応に、後ろに説明文がある

Anointed,s 救世主 (キリストヲ云)

Alcaides 裁判役 (西班牙ノ)

Allodium,s 除地 (年賀ヲ納メヌ地ヲ云)

Ancillary,adj 勤ムベキ (待婢ノ様ニ)

(c) 一対多の対応を持つ

Addendum,s 附録、添物 (ソエモノ)

Analytices 解剖學。分離學

Adhortatory,adj 指図スル、評議スル、助言スル、勸弁スル

Availably,adv 有益ニ。要用ニ

Admissibility,s 許スベキ、引受ベキ

Acquisitive-ness,s 得タル。才能アル

(d) 一対説明文

Abecedarian,s エヒシヂヲ教ル人或ハ習フ人

Acrobats 綱渡リノ稽古スル人

Alumnus,s 學校ノ地位ニ昇進シタル人

Autobiographical,adj 自ラ一生中ノ事業ヲ記スル人同上ノ

以上のような増補した訳語の特徴を分析すると、(a) タイプ中の「Apostemate,v,n 膿潰スル」、単語対単語訳は、蘭和辞書『バスダード辞書』(一八二二年)の訳語として使われていたが、「英華字典」には一切痕跡がなかったため、『薩摩辞書』再版は、蘭学の影響がまだ残っているといつてよからう。また、(c) タイプ中の「Analytices 解剖學。分離學」は、一九〇八年の顔恵英『英華字典』<sup>(9)</sup>に初めて収録されていたため、日本からの影響を受けたからではないかと思われる。そのほか、(c) タイプの場合では、できるだけ多くの訳語を付けて、英語との意味をはっきりさせようという姿勢が見られる。

(b) と (d) タイプの訳語の付け方は、後ろに説明文を付けて、『英和对訳袖珍辞書』初版・再版と『薩摩辞書』初版にも使われたため、当時の人々に訳語の意味を理解させようとしていると見られる。このような訳語の付け方は、おそらく見出し語の意味概念をはっきりと消化することができず、具体的な訳語がまだ創出されていなかった段階であったことを示すものであろう。この点については、堀孝彦・谷澤尚一が『堀達之助 研究ノート』の中にも次のような指摘がある。



国語学からの興味深い指摘がある。訳語が長い説明語句から一単語へと収斂・結晶していく過程こそ、異文化の言葉を（自国の言葉で）「単語（概念）」として確定する、つまり、begreien（概念的に把握する、——ヘーゲル）過程であって、すべて思想的営為に他ならない。

つまり、この時期の「英和・和英」辞書の訳語は、まだ西洋の概念・思想を吸収しているところであって、英語の概念が明確的に把握されていなかったため、訳語がまだ結晶していなかったように思われる。

一方、『薩摩辞書』再版は、蘭学における訳語の付け方をそのまま継承したものもあれば、今まで見られない漢語あるいは斬新な訳語を用いて試みたものもある。「Azote's 窒素瓦斯」、「Azotic,adj 窒素瓦斯ノ。窒素瓦斯ヲ含クル」のような、それまでにはなかった訳語が当てられた場合については、もっと評価すべきであろう。勿論これは辞書の編集者、堀孝之自らの工夫があったからこそ生まれたものであると思われる。

#### 四・二 増補した見出し英語のタイプについて

増補された見出し語を分析すると、さらに三種類に分けられる。

##### ① 『英和对訳袖珍辞書』初版・再版『薩摩辞書』初版の見出し

語の上に、直接的に追加するもの

『英和对訳袖珍辞書』初版 Amatory,adj 愛スベキ  
『英和对訳袖珍辞書』再版 Amatory,adj 愛スベキ  
『薩摩辞書』初版 Amatory,adj 愛スベキ  
『薩摩辞書』再版 Amatory,Amatorial,adj 愛スベキ

##### ② 接尾語を添加したり、削除したりして、品詞の変化によるもの。この場合には、さらに五つに細く分類される。

(I) 名詞から形容詞への増補…名詞をもとにして、その名詞に接尾語を付けて、形容詞に変化させて増補した見出し語

『薩摩辞書』初版 Autobiographers,自ラ一生中ノ事業ヲ記スル人  
『薩摩辞書』再版 Autobiographical,adj 自ラ一生中ノ事業ヲ記スル人ノ

(II) 形容詞から名詞への増補…形容詞をもとにして、その形容詞の接尾語を変えて名詞化させた見出し語

『薩摩辞書』初版 Audible,adj 聴ユル  
Attic,adj 希臘地ノ、飾アル  
『薩摩辞書』再版 Audibleness,聴ユルベク  
Atticisms,希臘ノ語則

(III) 形容詞から副詞への増補…もともとの英語の名詞の語尾を



変えて、副詞化させた見出し語

『薩摩辞書』初版 Available.adj 利益アル。要用ナル

『薩摩辞書』再版 Availably.adv 有益ニ。要用ニ

(Ⅳ) 品詞を変えずに、接尾語の添加による増補語

『薩摩辞書』初版 Assassins 人殺シ

Artillery.s 大砲、砲術

『薩摩辞書』再版 Assassinators 人殺シ

Artillerists 砲術ニ達シタル人

(Ⅴ) 動詞から形容詞への変化による見出し語

『薩摩辞書』初版 Assess.v+ed-ing 運上出サシムル

『薩摩辞書』再版 Assessable.adj 運上ヲ出スベキ

③ 完全に新たな見出し語

このタイプの語は、『英和对訳袖珍辞書』初版・再版と『薩摩辞書』初版には関連する語彙がない

Aurists 耳ノ病ヲ療治スル人

Axiomatic.adj 明白切実ノ

Autopsy.s 明察。解剖

以上によって、『薩摩辞書』再版の増補語の特徴は①に少なく、

②③のほうがメインであったことがわかった。第1刷・再版2刷・3刷の辞書は、「改正増補」というタイトルが付加されていたが、実際にはその改正増補この作業は大幅には行われなかった。その反面、『薩摩辞書』再版は、品詞変化による増補、「+tics」「+graph」「+ism」「+nism」「+logist」などの接尾語による増補語、そして、完全に新たに取り入れられた増補語は、それらが非常に重要であったことから、近代新漢語の誕生にも甚大な影響を及ぼしたと見られる。ここでは、本稿が注目したい『薩摩辞書』再版における語彙の追加を明らかにするために、根本的な編集「方針」があったかどうかを探究するために、『五代友厚伝記資料<sup>(7)</sup>」を見ることにする。

和訳英辞書増補改正覚え 明治二年

一 「スモール・ウエブストル」ヨリ選擧シテ、和訳英辞書ニ不足ノ英語ヲ増加スベキコト。

一 和訳辞書ニ間々謬訳有ルベキナレバ、別ニ改正方相雇フベキコト。

一 書末ニ付属スル略語ニ詳ニ和訳ヲ施スベキコト。

一 右通ノ増補改正辞書ノ序文並ニ初メ一枚モ先ヅ発版シテ、普ク天下ニ布告スベキコト。

右四ヶ条ハ、此旅再刻ニ於イテ、一モ不可欠ノ要件ナリ

無署名だが（『大正増補和訳英辞林』）へ向けて堀孝之に指示した五代のものであらうと新谷九郎が解説している。そして、高橋新吉書簡（明治二年一〇月二四日）に「増補改正も堀勉強にて過分付け……」とあり、五代の指示を受けた『薩摩辞書』再版（『大正増補和訳英辞林』の準備も初版発行以降既に進行中であったことがわかる。『薩摩辞書』再版の序文から見れば、この五代の指示を編纂方針と見なしてもよからう。

## 五 「英和・和英」辞書への影響関係について

一八七一年の『薩摩辞書』に増補された語が、一八六七年刊の『和英語林集成』とは関係があるかどうか、また、一八七三年の『附音挿図英和字彙』への影響があるかどうかについて次に考えてみたい。

### 五・一 一八六七年の『和英語林集成』初版との関係性について

筆者が、『和英語林集成』初版のAの部分の語彙（四〇三語）と比べた結果、見出しが同じである語はわずか八語しかなかった。左側で示したようである。編者と訳語の付け方から見ると、『薩摩辞書』再版は、ヘポンの『和英語林集成』初版からはあまり影響を受けていなかったと言ふべきであらう。

一八七一年『薩摩辞書』

Airbladders ウキ袋

Amaurosis 内障

Astronomy 星學

Autographs 自筆

Anaconda 大蛇

Abduct.v.t. 盗去ル

Advertise.v.a 知ラセル

告知

Alms 施物

一八六七年『和英語林集成』

Airbladder.Midz-bukuro

Amaurosis.Sokohiakimekura.

kokushogan

Astronomy.Tenmon

Autograph.Jikinitz

Anaconda.Mitsuchi

Abduct.Kadowakasz

Advertise.Fureruhromeru.

fuchohiro;

Alms.Semotszsegiyo.

hodokoshi:hosha

### 五・二 『薩摩辞書』再版は、一八七三年の『附音挿図英和字彙』への影響

『薩摩辞書』再版が一八七三年刊の『附音挿図英和字彙』に影響をあたえたかどうかを調査し、「完全一致する語」と「相似している語」を合わせた結果を以下に示す。

『薩摩辞書』再版

Aard-vark.n 獣之名

『附音挿図英和字彙』初版

Aard-vark.n 獣名

『薩摩辞書』再版

Abuttals 國境  
Accouchements 分娩  
Asphyxia, Asphyxy, s 氣絶  
Acetic, adj 酸氣ノ  
Adhesively, adv, 粘着シテ

Adnascent, adj 寄生スル

Anaglyptic, adj, 彫刻術ノ

Antelucan, adj 未明ノ

Ante-meridian, adj, 午前ノ

Antiphlogistic, adj 焔衝ヲ防グ

Antiseptic, adj 腐敗ヲ防グ

Aboriginal, adj 最初ノ、根元ノ

Adjectival, adj 形容辞ノ

Accordions, 風琴

Addendum, s 附録、添物

Adequacy, s 平均。

一樣。充分

『附音挿図英和字彙』初版

Abuttal, n 国境。岬  
Accouchements 分娩  
Asphyxia, Asphyxy, n 氣  
Acetic, adj 酸氣ノ  
Adhensively, adv 粘ク

粘着シテ

Adnascenta 寄生スル

Anaglyptic, adj, 彫刻術ノ

Antelucan, a 未明ノ

Antemeridian, a, 午前ノ

Antiphlogistic, a 焔衝ヲ防グ

Antiseptic, a 腐敗ヲ防グ

Aboriginala 最初ノ

根元ノ、水源ノ

Adjectivala 形容辞状ノ

形容辞ノ

Acordion, n 小風琴

Addendum, Addndan 附録  
附添。追加

Adequacy, n 平均。充分。

適當

『薩摩辞書』再版

Adverse-ness, s 反對ノ  
不幸ナル

Alcohol, s 焼酒精

Alms, s 施物

Alveary, s 蜂ノ巢。耳ノ穴

Analytiss, 解剖學

分離學

Anointed, s 救世主

(キリストヲ云)

Apostemes, 膿潰

Archaeology, s 古事學

Astronomy, s 星學

Autographs, s 自筆

Azote, s 窒素瓦斯

また、以下の用例は『薩摩辞書』再版を「薩摩」と、『附音挿図英和字彙』初版を「附音」と省略するにしている。

薩摩 Alkalescent, adj, 鹼汁塩ノ質ニナル

附音 Alkalescent, a 鹼汁塩質ノ

『附音挿図英和字彙』初版

Adverseness, n 反對。災害。  
薄命

Alcohol, n 酒精

Alms, n, pl 施物。濟財。

賑濟

Alveary, n 蜂巢。耳孔

Analytiss, n 解剖學

詳解學 分析學

Anointed, s 救世主

(基督教)

Apostemata, n 膿潰。潰瘍

Archaeology, n 古事學。

古物學

Astromoy, s 占星學

Autograph, n 自筆。自書。

原書

Azote, n 窒素瓦斯

薩摩 Amendable.adj 改正スベキ

附音 Amendable.a 改正スベキ。補缺スベキ

薩摩 Animalcular.adj 小動物ノ

附音 Animalcular.a 極微蟲ノ。小動物ノ

薩摩 Anserine.adj 鵝ノ、鵝ノ如キ、鵝皮

附音 Anserine.ad 鵝ノ、鵝皮ニ似タル

薩摩 Appurtenance.s 附属スルモノ

附音 Appurtenance.n 附属品。附録

薩摩 Archaeological.adj 古事学ノ

附音 Archaeological.a 古事学ノ。古物學ノ

薩摩 Attributive.adj 歸スル

附音 Attributive.a 歸スル。性質ニ屬スル

薩摩 Aurated.adj 金ニ似タル。金色ノ

附音 Aurated.a 金ニ似スル。金色ノ

薩摩 Adhesively.adv 粘着シテ

附音 Adhesively.adv 粘着シテ。粘ク

薩摩 Affectingly.adv 感ズベク

附音 Affectingly.adv 感ズベク。寵愛スベク

薩摩 Amalgam.s 水銀ト他ノ金属トノ混合。交ゼ物

附音 Amalgam.n 水銀ト他金ノ混合物。交物

薩摩 Anticontagious.adj 伝染ヲ防グ

附音 Anticontagious.a 伝染病ヲ防グ。伝染病ヲ除ル

薩摩 Advertise.v.a-ed-ing 知ラセル、告知スル

附音 Advertise.v.a 告知スル。弘ル。公布スル

薩摩 Aerate.v.a-ed-ing 炭酸ト混合スル。大氣ヲ充ス

附音 Aerate.v.a 炭酸ト飽合スル。

薩摩 Affiliate.v.a-ed-ing 養子スル、結ヒ付ル、仲間ニ入レル

附音 Affiliate.v.a 養子ニシタル。夥伴ニシタル

薩摩 Autographic, Autographical adj 自筆ノ  
附音 Autographic, Autographical adj 自筆ノ。自書ノ。原書ノ

薩摩 Azotic, adj 窒素瓦斯ノ。窒素瓦斯ヲ含クル  
附音 Azotic, a 窒素瓦斯ノ。窒素瓦斯ヲ含タル

薩摩 Acidify, v, a -ed -ing 酸クナル、酸クナス  
附音 Acidify, vt, Acidified, pp, Acidifying, ppr 酸クナス

薩摩 Aloetic, Aloetical, adj 芦荟ノ、芦荟ヨリ得タル  
附音 Aloetic, a 芦荟ノ。芦荟質ノ

薩摩 Arsenic, Arsenical, adj 砒石ノ。砒石ヲ含タル  
附音 Arsenic, Arsenical, adj 砒石ノ。砒石酸

薩摩 Astute, adj 横着ナル。狡猾ナル  
附音 Astute, adj 狡猾ナル。鋭敏ナル。伶俐ナル。詭詐アル

薩摩 Atomism, s 「極微ノ分子。細微ニシテ分ツ」ノ出来ヌ物」ノ教  
附音 Atomic, Atomical, a 極微分子ノ。極微

以上の結果をまとめてみると、『薩摩辞書』再版が増補した約五

〇語は、次の三つのタイプ別で『附音挿図英和字彙』初版に収録されているようである。

(1) 直接『薩摩辞書』再版から引用された語彙。

例：「Acetic, adj 酸氣ノ」「Adnascent, adj 寄生スル」  
「Anaglyphic, adj 彫刻術ノ」

(2) 『薩摩辞書』再版の訳語上でさらに対訳語を追加した語彙

例：Affectingly, adv 感スベク  
Affectingly, adv 感スベク。寵愛スベク (附音)

(3) 『薩摩辞書』再版の訳語を一部だけ吸収して、一部だけ削除された語彙 例：Atomism, s 極微ノ分子。細微ニシテ分ツ」ノ出来ヌ物」ノ教

Atomic, Atomical, a 極微分子ノ。極微 (附音)  
以上、主にAの部分の増補語と『附音挿図英和字彙』に見える語彙との比較検証を行った。言うまでもなく、『附音挿図英和字彙』初版は『薩摩辞書』再版から多くの見出し語や対訳語を取り入れたと思われるが、具体的にどれほどの影響を及ぼしたか、今の段階ではまだ十分にはわからない。今後、八〇〇〇語の増補の正体を把握しつつ、辞書間の影響関係をさらに明らかにしていきたい。

六 『薩摩辞書』再版の増補語は、「英華・華英」字典との相互影響について

『薩摩辞書』再版は、明治四年（一八七一年）に改訂され、上海の印刷所・美華書院で刊行された。この増補改訂を行った堀孝之は、『英和对訳袖珍辞書』初版を編集した堀達之助の次男である。そして、ちょうどこの時期に、画期的な辞書となったロブシャイド『英華字典』が一八六六年から一八六九年にかけて、四部に分けて出版された。以下の表3は両辞書の出版年代の関係を簡略にまとめたものである。

ロブシャイド『英華字典』の出版は、中国における辞書の中で当時としては最も完備したものであり、また、日本では蘭学から英学へと中心を移していた時期でもあって、その影響は決定的であったと思われる。森岡健二『改訂近代語の成立―語彙編』の「英和辞書における訳語／第三章英和辞書に与えた英華字典の影響」には以下のような記述が見える。

ロブシャイドの『英華字典』が完成したのは、明治二年であるが、管見によると、この影響がもつとも早く表れたものは、辞書では、吉田賢輔ら知新館社中編の『英和字典』（明治五年）

表3

ロブシャイド 『英華字典』	出版 年代	『英和对訳袖珍 辞書』系	出版 年代
		初版	1862
第一部 序、 A-C	1866	再版：改正増補	1866
第二部 D-H	1867	再版：第二刷	1867
第三部 I-Q	1868		
第四部 R-Z	1869	薩摩辞書初版	1869
		薩摩辞書再版	1871

であり、翻訳では中村正直の『西国立志編』（明治四年）及び『自由之理』（明治五年）である。知新館の英華字典は従来のものと異なるまったく独創的な辞書であり、また「自由之理」は難解な John Stuart Mill “On Liberty” の翻訳であって、ともに一朝一夕にできる仕事でないことを思えば、ロブシャイドの字典が完成して日本に伝えられるや、直ちに両者に、これを利用し始めたと考えるべきであろう。

したがって、明治五年を起点として、英和辞書との関係を考察し、ロブシャイドの影響関係を探っていくことにする。

この「英和辞書に与えた英華字典の影響」の指摘に関して、筆者は一つ大きな疑問を持った。それは、ロブシャイドの『英華字典』の影響が最も早く表れた辞書は、吉田賢輔ら知新館社中編の『英和字典』（明治五年）ではなく、『薩摩辞書』再版（一八七一年）ではないかと考えるからである。以下、この論点を立証するために、近代史数位資料庫にある『英華字典資料庫』<sup>(8)</sup>を利用して、『薩摩辞書』再版のAの部分の見出し増補語をキーワードとして「英華字典」からどのような影響を受けたのかどうか、あるいは後で編纂された辞書にどのような影響を与えたかどうかについて徹底的に調査したところ、表4のような結果となった。

以上によれば、『薩摩辞書』再版にある増補語は、ロブシャイド『英華字典』との見出し語が同じ場合は一六六件である。確かに、『薩摩辞書』再版の見出し英語は、明確に『ウェブスター辞書』から抽出したと書かれている。しかし、この見出し語との対訳は、どこに由来するかと考えれば、編纂年代が早く、しかも影響力が非常に大きかったロブシャイド『英華字典』を排除すべきではないと考える。さらに、詳しく以下に両辞書の訳語の異同を比較し検証してみることとする。

表4

英華字典の初出	『薩摩辞書』再版と一致する語数
モリソン	7 件
ウィリアムズ	4 件
メドハースト	11 件
ロブシャイド	166 件
井上哲次郎	5 件
顔惠慶	173 件
出典なし	37 件
合計	403 件

ロブシャイド『英華字典』	『薩摩辞書』再版増補語
Accouchement, 生子、分娩、臨盆、臨盆	Accouchements, 分娩
Adnascent, 蔓生、寄生、纏生	Adnascent,adj 寄生スル
Amendable, 可改正的	Amendable,adj 改正スベキ
Astute, 狡猾、聰明、詭譎	Astute,adj 狡猾ナル。横着ナル
Advertise, 告知、報知	Advertise,v.a 知ラセル。告知スル
Aurated, 金色	Aurated,adj 金ニ似タル。金色ノ



以上のように、Aの部分を見ると「分婉・寄生・改正・狡猾・告知・金色」など漢語は両辞書ともに収録されているが、ロブシャイド『英華字典』に由来するとは判断しがたかったのであろう。それまでの英和辞典は蘭和辞典を基にした訳語に従うことが多かったのに対して、ロブシャイド『英華字典』が誕生したことによって、それに訳語を求めるようになったのではないかと見られる。

そこで、堀孝之がロブシャイド『英華字典』の訳語を参照したという仮説に立って、Aの部分についてその一部を抽出して比較検討することにする。

ロブシャイド『英華字典』

Adjunct, 加添之物、

相附之物

Aeruginous, 銅緑之物

Agnate, 父之男戚

Anserine, 如鵝皮噉様

鵝皮

Apterous, 無翼的

Abecedarian, 初學之人、

教字母者ル人

All souls day, 番十一月初二日

『薩摩辞書』再版

Adjunct, adj. 添加ヘタル

Aeruginous, adj. 銅鑄ノ

Agnate, adj. 父方ノ

Anserine, adj. 鵝ノ。鵝ノ如キ

Apterous, adj. 翼ナキ

Abecedarian, s. エヒシヂヲ教

或ハ習フ人

All-souls-days 第十一月二日

羅馬宗ノ規式

Amphibia, 水陸並生者

Arab, 亞喇伯人

Artillerist, ①砲手、砲兵

②一隊砲手

Audibleness, 可聽、耳可聞

Alpine 屬啞喇便山

層巒聳翠、層巒疊聳

Amphibians, 水陸ニ住ム獸

Arab, アラビヤ國人

Artillerists, 砲術ニ達シタル人

Audibleness, 聴ヘベキ

Alpine, adj. アルプス山ノ。高山ノ

Androgynal, Androgynous 具男女兩性陰陽並有的

Androgynal, Androgynous, adj. 両性ヲ持ツタル。

両性ノ徴候ヲ持タル人形ノ機械

以上の両辞書を比較検討するだけでは、堀孝之が直接に参照したことを十分に証明できないと考える。そこで、第三の言語「漢語」をもつて間接的に訳語を創出したことがあったと見られ、その方法を次の4つに分類できるように思われる。

① 漢語を片仮名に変換する

例 亞喇伯人——アラビヤ國人

字母——エヒシヂ

啞喇便山——アルプス山ノ

② 語順を転倒させる

例 加添——添加

③ 意味が明瞭な語の場合、一字一字で訳す

例 無翼的——翼ナキ 可聽——聽エベキ

如鵝皮噉様——鵝ノ、鵝ノ如キ、鵝皮

④ 意味が複雑な場合、説明文(句)を付けて対訳する

例 水陸並生者——水陸二住ム獸

砲手——砲術ニ達シタル人

ロブシャイドの『英華字典』の訳語は、英語による概念把握のしかたが、英和辞書よりかなり進んでいた。堀孝之が、『英華字典』を参照しながら、『英和对訳袖珍辞書』の訳語の付け方にに基づき、自ら加工して日本人にわかりやく訳出しようとしているのではかと思われる。従って、『薩摩辞書』再版の増補語は、ロブシャイドの『英華字典』からの影響を大きく受けているのであろう。勿論、今回は、『薩摩辞書』再版Aの部分の増補語だけしか検討しておらず、全体としてロブシャイドの『英華字典』にどれほどの影響を受けたかは、今後さらに調査しなければならない。今後の課題として研究を推し進めていきたいと思う。

また、表4に示したように一七三件の増補語が、顔惠慶『英華辞典』に初めて収録されたことから考えると、「英和辞書」であれ、「和英辞書」であれ、また「英華辞書」であれ、「華英辞書」であれ、それぞれお互いに参照し合って編纂されることは、決して珍しくなかったと考えられる。

## 七 おわりに

以上、『薩摩辞書』再版のAの部分の増補語について、日中両側の辞書を比較しながら検討した。今回の調査結果のポイントに次にまとめておく。

(一)『改正増補英和对訳袖珍辞書』第二版・『薩摩辞書』初版・『薩摩辞書』再版の比較を通して、増補した語を品詞によって分類した結果は、表2で示したように、動詞・副詞・他の品詞より、名詞・形容詞のほうがかなり多かった。この原因は、おそらく、日本がヨーロッパの文明や思想を新たに吸収しようとする明治初期においては、新しい意味概念を解釈するために、大量の名詞・形容詞が求められたのではないかと思われる。

(二)『薩摩辞書』再版の増補語を、対訳語および見出し語という観点から分析すると、対訳語という観点からは、英学が流行している時代といえども、まだ蘭学の痕跡が訳語のつけ方や、訳語の出自などの方面にも見られることが明らかとなった。その反面、見出し語という観点から見ると、品詞間の変換や接尾語の添加などによる増補が、明治時代における学術用語・哲学用語などの新しい漢語の誕生にも大きく貢献していることが判明した。正しく「父が種まいた英和の畠を……(中略)……その子が……(中略)……面目一新の偉業をなした」(杉本つとむ『著作選集』七、八)と評価され

た通りである。

(三)『薩摩辞書』再版の増補語の考察によって、辞書間の影響関係が多少とも垣間見ることができたように思われる。まず『英和对訳袖珍辞書』初版・再版からずっと参照されてきた「蘭和・和蘭」辞書が、明治時代に入っても大量の訳語を提供する一大補給源であった。もう一つの訳語の源としては、中国のロブシャイド『英華字典』があげられよう。本稿によって、『薩摩辞書』はロブシャイド『英華字典』を利用したという発想があってもよいことが明らかとなった。この証拠をさらに補強するためには、Aの部分の増補語だけの考察では不十分であると認識している。今後、『薩摩辞書』再版における、すべての増補語を調査し、両辞書間の影響関係、さらには日中語彙交流の視点からも検証を続けていきたいと思う。

## 注

- (1)『英和对訳袖珍辞書』初版・再版、『薩摩辞書』初版・『附音挿図英和字彙』初版は、立教大学図書館所蔵のものである。
- (2) 第2版 SECOND AND REVISED EDITION
- (3) 第3版 THIRD EDITION REVISED
- (4) 第4版 FOURTH EDITION REVISED
- (5) 表2の『薩摩辞書』再版にある「……詞」は、現代文法の品詞の「詞」でなく、「辞」に相当する。
- (6) 顔惠慶『英華辞典』は、一九〇五年から編纂され始め、二年をかけて、一九〇八年に完成されたものである。中国で初めて

「辞典」と称したもので、さまざまな新漢語を初めて収録したと言われている。

- (7) 日本経済史研究所編『五代友厚伝記資料』(政治・外交・雑纂・年譜) 一九七四年十一月十五日
- (8) 一八一五年から一九一九年にかけて、中国における代表的な早期英華字典は全て『英華字典資料庫』に収録されており、外来の宣教師及び言語学者達(モリソン・ウィリアムズ・メドハースト・ロブシャイド・井上哲次郎など)によって、編纂されたものである。

## 【参考文献】

### 〔論文〕

- 井田好治『薩摩の英学(二)』(鹿児島大学文科報告／鹿児島大学文理学部編 一九六三年)
- 杉本つとむ『江戸時代翻訳日本語辞典』(早稲田大学出版部 一九八一年)
- 森岡健二『改訂近代語の成立―語彙編』(明治書院 一九九一年)
- 堀孝彦・谷澤尚一『堀達之助研究ノート(その九)』(名古屋学院大学学論集社会科学篇第29巻第4号 一九九三年)
- 杉本つとむ『辞書・事典の研究Ⅰ』(八坂書房、一九九九年)
- 杉本つとむ『辞書・事典の研究Ⅱ』(八坂書房、一九九九年)
- 堀孝彦・遠藤智夫『英和对訳袖珍辞書』の遍歴…目で見える現存初版十五本(辞游社 一九九九年)
- 堀孝彦著『英学と堀達之助』(雄松堂 二〇〇一年)
- 沖森卓也 等編『日本辞書辞典』(おうふう 一九九六年)

早川勇 『ウェブスター辞書と明治の知識人』(春風社 二〇〇七年)  
 遠藤智夫 『英和对訳袖珍辞書』と近代語の成立：中日語彙交流の  
 視点から(港の人 二〇〇九年)  
 堀孝彦・三好彰 編著 解説『英和对訳袖珍辞書』原稿：初版およ  
 び再版(港の人 二〇一〇年)  
 堀孝彦 『堀孝之とその周辺：薩摩辞書と近代社会』(東日本英学史  
 研究：日本英学史学会東日本支部紀要(十五) 二〇一六  
 年)

〔辞書類〕

モリソン 『A Dictionary of the Chinese Language PartⅢ』(一八  
 二二年)  
 ウィリアムズ 『An English and Chinese Vocabulary in Court  
 Dialect』(一八四四年)  
 メドハースト 『English and Chinese Dictionary』(一八四七―一八  
 四八年)  
 ロブシヤイト 『English and Chinese Dictionary, with Punti and  
 Mandarin Pronunciation』(一八六六―一八六九年)  
 顔惠慶 等編 『英華大辞典』(An English and Chinese Standard  
 Dictionary 上海商務印書館 一九〇八年)  
 馬場貞由 等編 『バスタード』 文政五年(一八二二年)  
 桂川甫周 等編 『和蘭字彙』 五冊 安政五年(一八五八年)  
 堀達之助 等編 『英和对訳袖珍辞書』 文久二年(一八六二年)  
 堀越亀之助 等編 『改正増補英和对訳袖珍辞書』 慶応三年  
 (一八六七年)

高橋新吉 等編 『和訳英辞書』(American Presbyterian Mission  
 Press 一八六九年)  
 高橋良昭 等編 『和訳英辞林』(American Presbyterian Mission  
 Press 一八七一年)  
 J・C・ヘボン 『和英語林集成』 講談社 初版(一八六七年)  
 柴田昌吉 等編 『附音挿図英和字彙』 日就社 初版  
 (一八七三年)  
 井上哲次郎 『訂増英華字典』(An English and Chinese Dictionary  
 J.Fujimoto 一八八三―一八八四年)

(しょう こうらく 大学院博士課程後期在学生)